

新型コロナウイルス感染症
COVID-19

診療の手引き 第 10.1 版

【潜伏期間・感染経路・感染性のある期間】

潜伏期間

・ 2～7 日（中央値 2～3 日）

感染経路

- ・ 感染者から 1～2 m 以内の距離で、病原体を含んだ飛沫・エアロゾルを吸入することが主要な経路
- ・ 換気が悪い屋内では、感染者から遠い場所でも感染
- ・ ウイルスを含む飛沫や環境表面に触れた手指で粘膜を触ることでも感染

感染性のある期間

・ 発症前から発症後 5～10 日

4月23日版

研究報告書
Apr 2024

図 2-1 COVID-19 患者の臨床経過

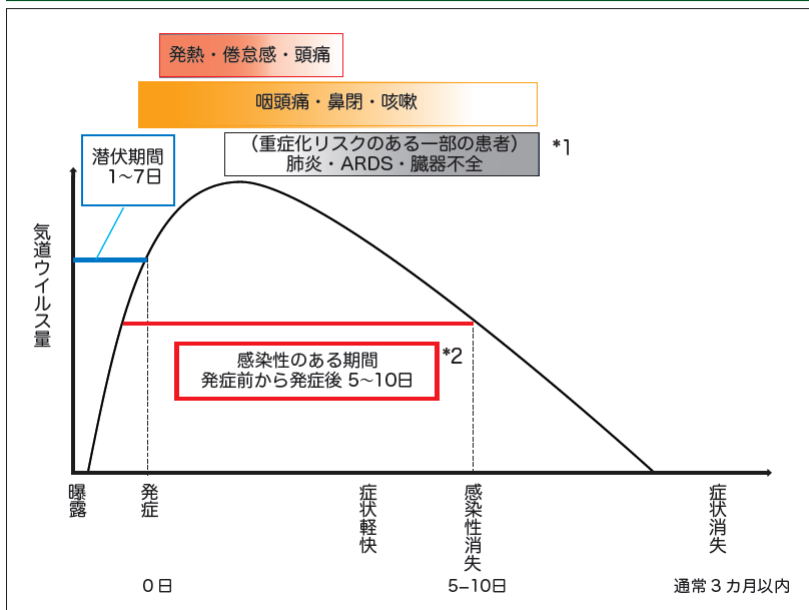
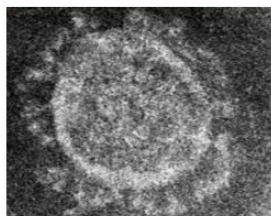
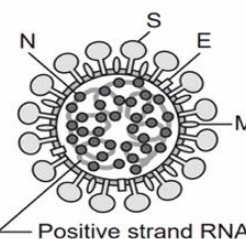


図 1-1 病原体 SARS-CoV-2 動物由来コロナウイルス



（国立感染症研究所）



S：スパイクタンパク

エンベロープにある突起が王冠（ギリシア語でコロナ）のように見える。SARS の病原体（SARS-CoV-1）と同様にアンジオテンシン変換酵素 2（ACE2）をレセプターとしてヒトの細胞に侵入する。3 日間程度は環境表面で安定と考えられる。

図 2-2 30 代男性（2022 年 2 月入院：中等症Ⅱ→重症）



Day 9

基礎疾患として肥満（BMI 39）、新型コロナワクチン未接種。発症 2 日目に抗原定性検査陽性、発症 9 日目に自宅から救急要請。入院後、デキサメタゾン、レムデシビル、セフトリアキソン、アジスロマイシンの投与、ネーザルハイフローを開始。翌日、重症対応医療機関に転院。人工呼吸管理となるが短期間で改善し退院。ゲノム解析で検出ウイルスはオミクロンと確定。

基礎疾患として肥満（BMI 39）

新型コロナウイルスワクチン未接種

令和6年11月29日

【照会先】健康・生活衛生局

感染症対策部感染症対策課

感染症情報管理室長 横田 栄一

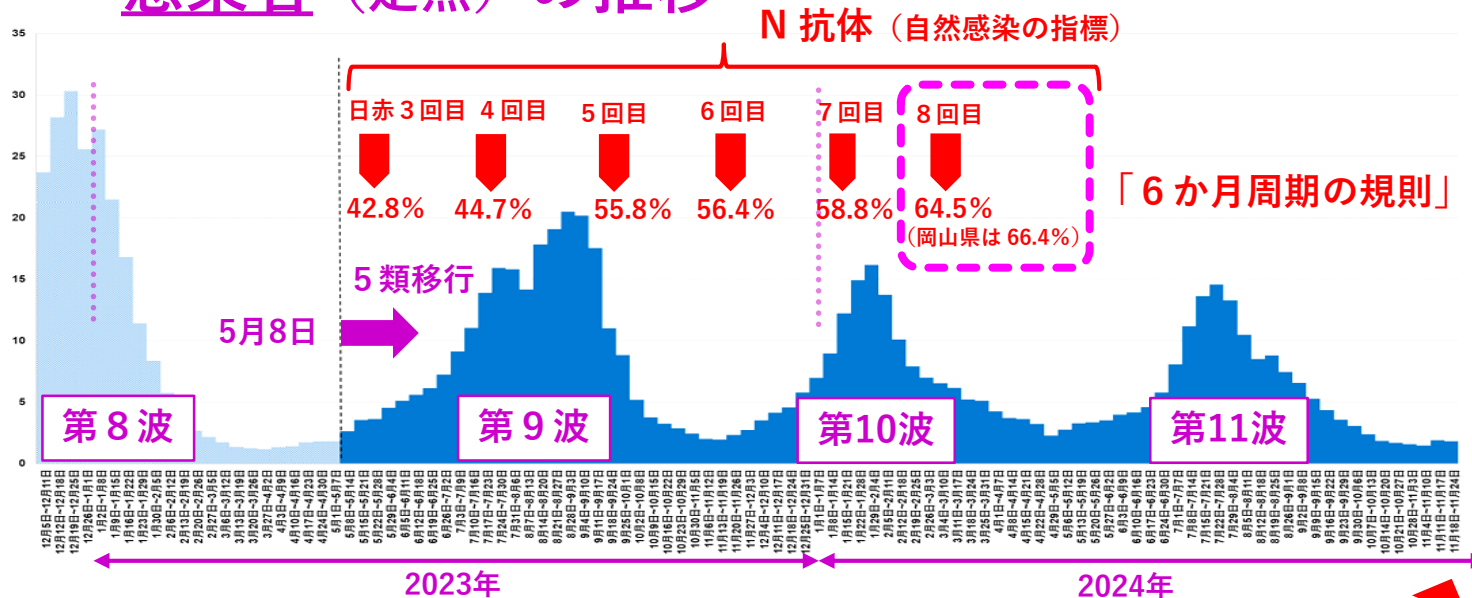
課長 補佐 佐野 圭吾

11月29日版

第47週

11/18~11/24

感染者（定点）の推移



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）定点当たり報告数・年代別推移

区分	第43週	第44週	第45週	第46週	第47週
	10/21-10/27	10/28-11/3	11/4-11/10	11/11-11/17	11/18-11/24
10歳未満	0.17	0.16	0.14	0.18	0.18
10～14歳	0.14	0.12	0.08	0.12	0.11
15～19歳	0.09	0.09	0.08	0.11	0.09
20～29歳	0.14	0.12	0.11	0.16	0.14
30～39歳	0.13	0.13	0.13	0.16	0.15
40～49歳	0.16	0.16	0.15	0.19	0.19
50～59歳	0.21	0.19	0.19	0.24	0.22
60～69歳	0.18	0.17	0.16	0.21	0.18
70～79歳	0.23	0.21	0.20	0.25	0.25
80歳以上	0.24	0.23	0.23	0.29	0.29
総数	1.69	1.57	1.47	1.90	1.81

11/18~11/24
(第47週)

第12波

ゆっくり上昇中

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の概況（第47週）

入院患者（定点）の推移

第12波

ゆっくり上昇中



(第44週がボトム)

11/18~11/24

入院患者（定点）の推移

(第47週)



(1)入院患者の届出数

期間	10月21日 ~10月27 日	10月28日 ~11月3日	11月4日 ~11月10 日	11月11日 ~11月17 日	11月18日 ~11月24 日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計 ^{※1}
入院患者数 ^{※1}	801	734	860	1,175	1,138	15,489	11,696	8,436	7,369	5,236	6,089	18,461	14,299	8,382	3,508	3,173	102,138
年齢別内訳																	
1歳未満	20	8	22	14	18	494	332	206	202	126	175	525	386	195	63	54	2,758
1~4歳	11	16	12	11	14	296	239	187	166	96	103	275	251	145	62	37	1,857
5~9歳	12	5	4	10	8	183	156	99	64	32	36	125	85	71	37	22	910
10~14歳	2	5	2	4	4	98	67	30	44	20	33	93	63	57	17	10	532
15~19歳	6	2	5	4	3	72	52	47	27	22	23	89	58	38	15	12	455
20~29歳	2	13	8	14	10	188	136	116	89	61	83	222	152	87	31	32	1,197
30~39歳	6	10	11	10	10	293	234	133	129	83	118	331	233	133	52	31	1,770
40~49歳	22	14	17	24	23	384	303	190	148	137	130	446	276	189	77	64	2,344
50~59歳	33	31	40	63	45	770	573	413	375	297	325	954	670	443	155	148	5,123
60~69歳	68	74	94	120	122	1,430	1,152	824	686	529	614	1,679	1,354	832	335	336	9,771
70~79歳	196	187	183	290	307	3,661	2,758	2,055	1,830	1,289	1,421	4,569	3,526	2,082	873	780	24,844
80歳以上	423	369	462	611	574	7,620	5,694	4,136	3,609	2,544	3,028	9,153	7,245	4,110	1,791	1,647	50,577

(2)入院時の状況

期間	10月21日 ~10月27 日	10月28日 ~11月3日	11月4日 ~11月10 日	11月11日 ~11月17 日	11月18日 ~11月24 日	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計 ^{※2}
ICU入室	34	28	32	37	25	653	563	392	312	219	267	773	597	377	140	94	4,387
人工呼吸器の利用	16	15	18	22	15	250	228	176	146	109	133	346	284	165	74	55	1,966
いずれにも該当せず	759	696	818	1,127	1,104	14,753	11,046	7,967	7,009	4,969	5,766	17,574	13,594	7,941	3,330	3,049	96,998
計 ^{※2} (一部重複あり)	809	739	868	1,186	1,144	15,656	11,837	8,535	7,467	5,297	6,166	18,693	14,475	8,483	3,544	3,198	103,351

岡山県

岡山県感染症週報 2024 年第 47 週 (11 月 18 日 ~ 11 月 24 日)

第47週

◆2024 年 第 47 週 (11 / 18 ~ 11 / 24) の感染症発生動向 (届出数)

12 月 1 日は『世界エイズデー』です

岡山県では『世界エイズデー』の関連行事として、エイズに関する正しい知識の啓発活動および保健所・支所で夜間・休日などの HIV 検査を実施します。詳しくは「[今週の注目感染症①](#)」をご覧ください。



レッドリボン
エイズに対する理解と
支援の象徴

効果的な場面で
のマスク着用！



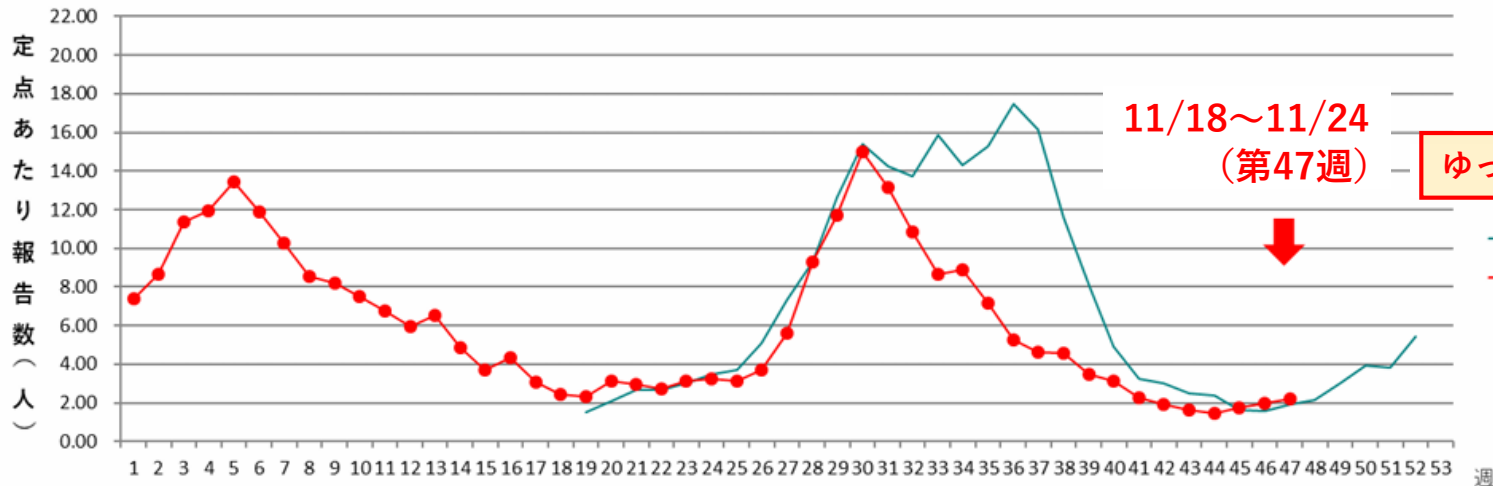
© 岡山県「ももっち」

岡山県は『腸管出血性大腸菌感染症注意報』を発令中です

岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

○新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は、県全体で 185 名 (定点あたり 2.20 人) の報告がありました (84 定点医療機関報告)。

岡山県 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 発生状況



11/18~11/24
(第47週)

ゆっくり上昇中

第12波

岡山県

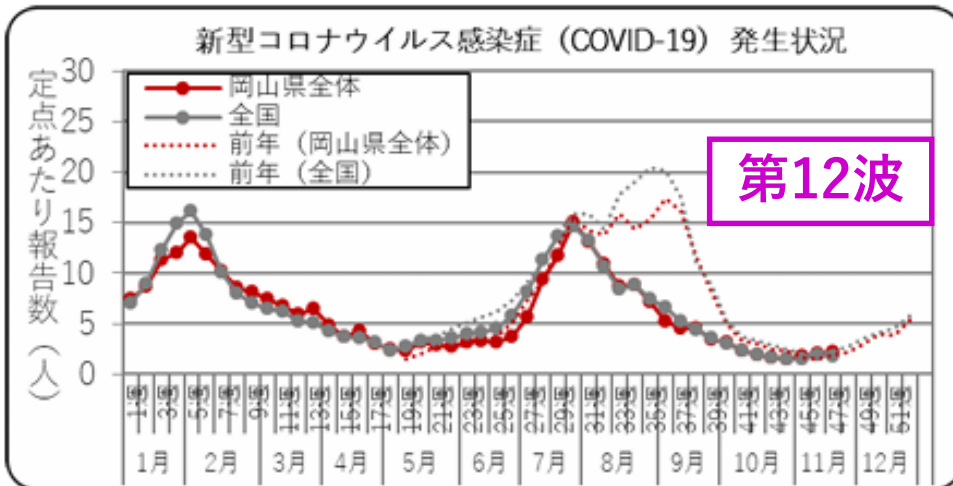
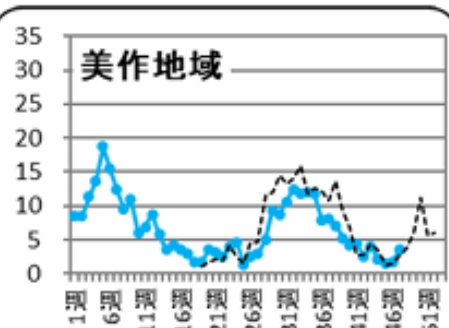
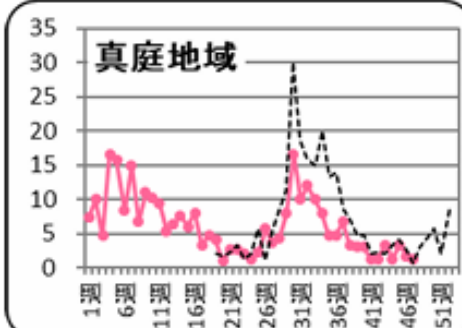
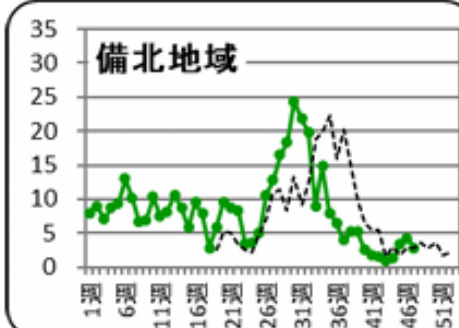
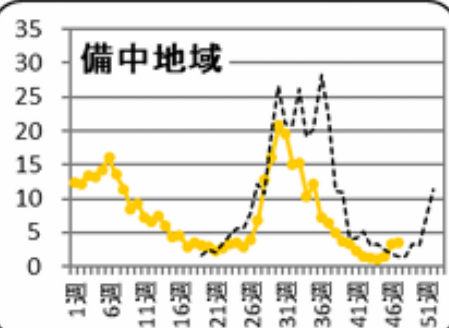
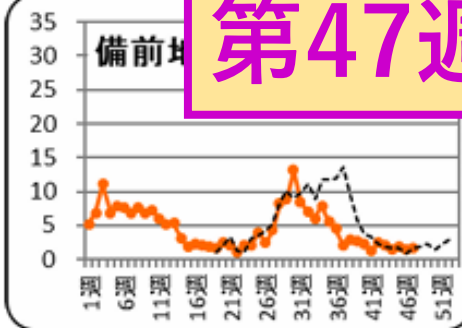
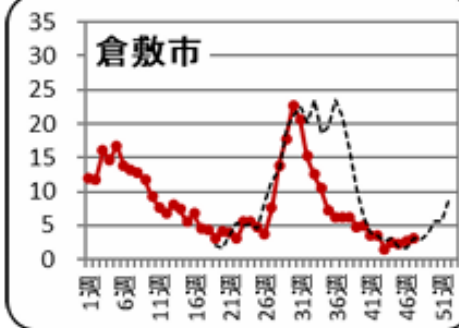
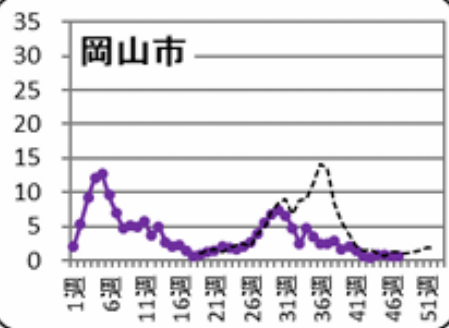


© 岡山県「ももっち」



© 岡山県「ももっち」

第47週



※前年データは破線で示しています。

ゆっくり 上昇中

⚠ 留意点: 年齢階級別の報告数の考え方について

定点医療機関は、小児科定点が内科定点に比べて多く選択されているため、報告数は小児に偏ります。一方で、年齢階級別の報告数により、経時的な流行全体の傾向(トレンド)と水準(レベル)の把握および年齢階級ごとにおける流行の傾向と水準を把握することができます。

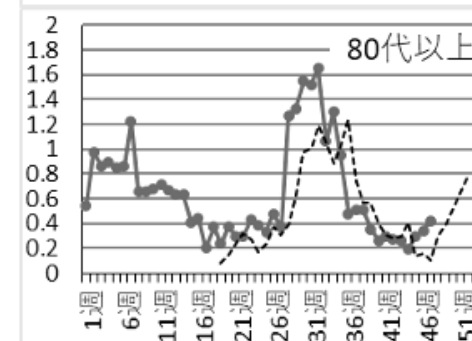
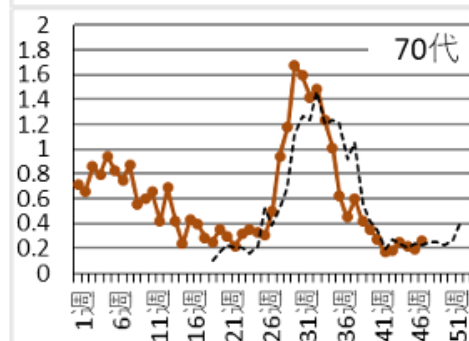
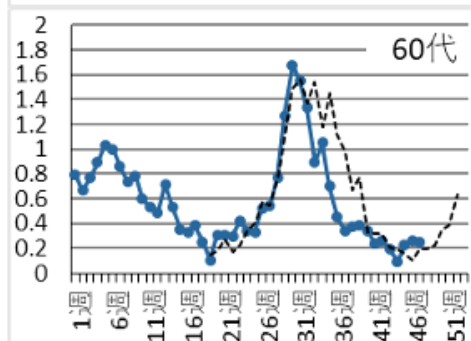
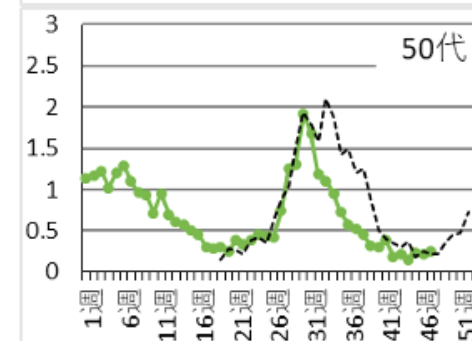
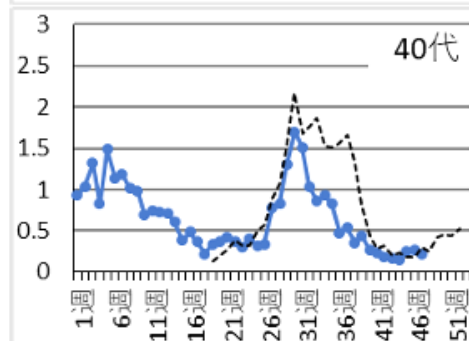
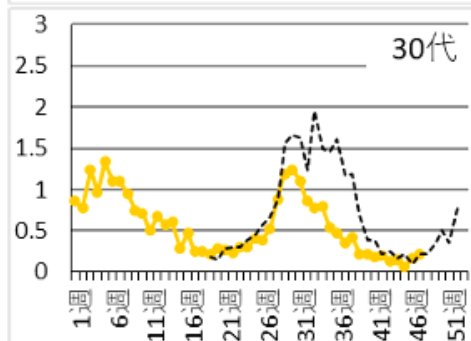
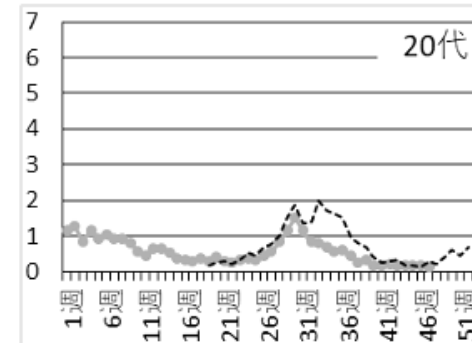
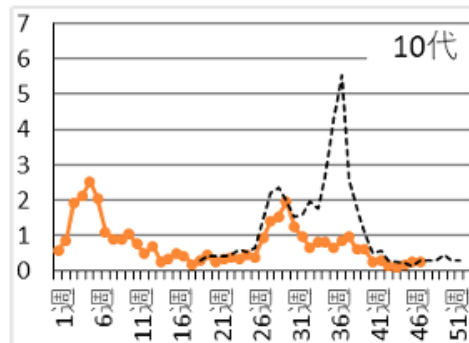
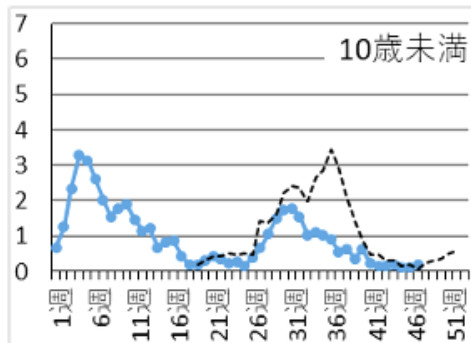
○年齢階級別の定点あたり報告数の推移



© 岡山県「ももっち」



© 岡山県「ももっち」



岡山県感染症週報 2024年第47週 (11月18日～11月24日)

岡山県



© 岡山県「ももっち」

効果的な場面でのマスク着用！



© 岡山県「ももっち」

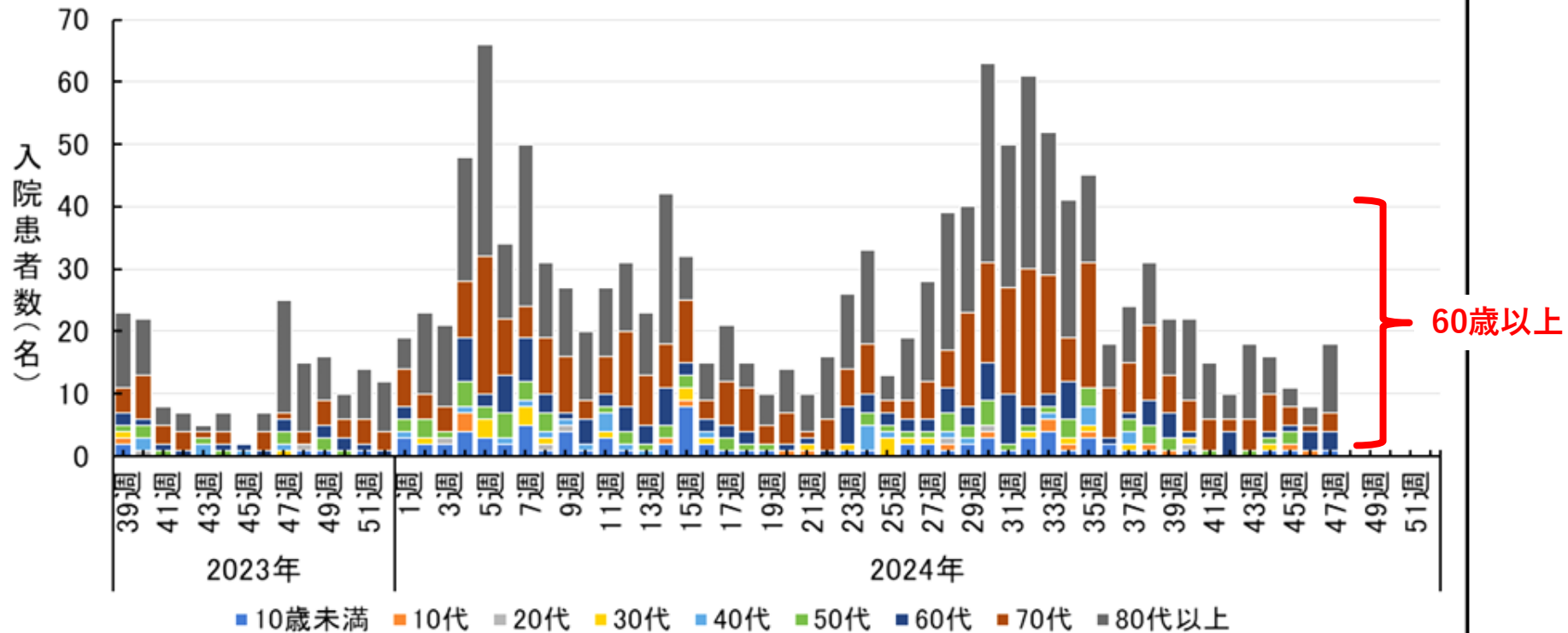
効果的な場面でのマスク着用！



© 岡山県「ももっち」

効果的な場面でのマスク着用！

入院患者数(年代別)の推移(基幹定点報告)



感染症週報

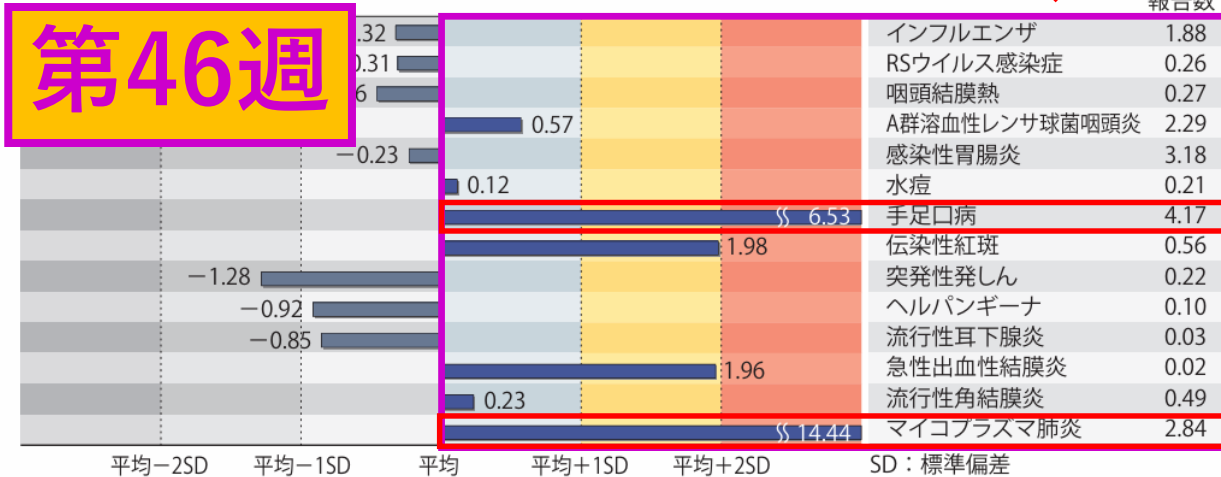
厚生労働省／国立感染症研究所

マイコプラズマに注意

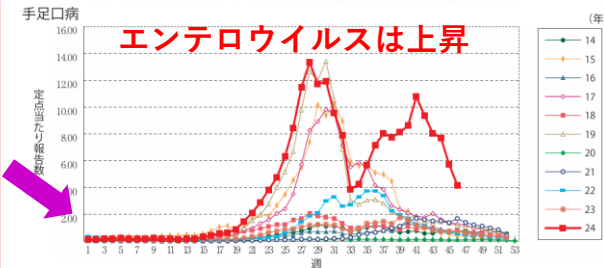
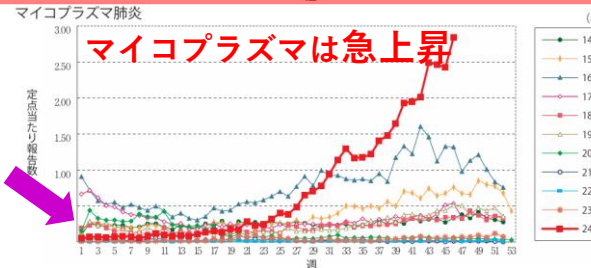
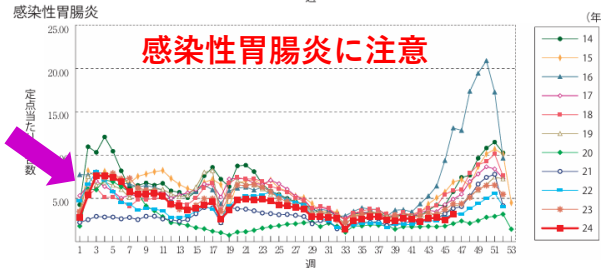
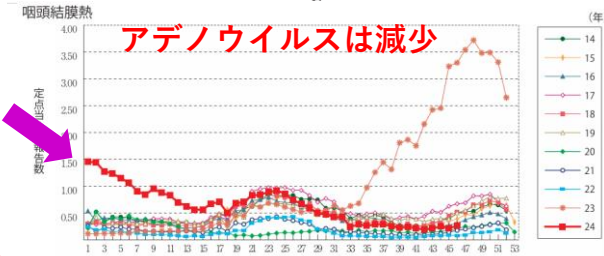
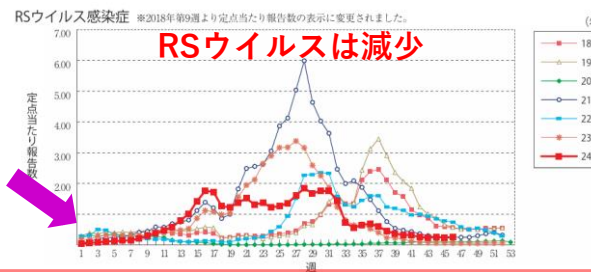
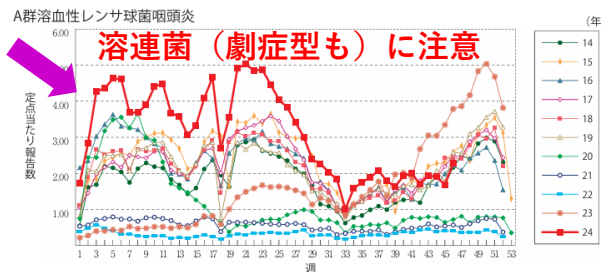
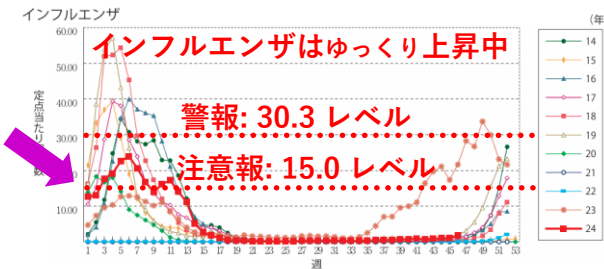
エンテロウイルスにも注意

11/11～11/17 第46週

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期の平均との比較(第46週)



定点当たり
報告数



今週の注目感染症②

岡山県

★マイコプラズマ肺炎

●マイコプラズマ肺炎とは

マイコプラズマ肺炎は、「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染することによって起こる呼吸器感染症です。小児や若い人の肺炎の原因として、比較的多くみられ、例年、患者の6～8割は14歳以下です。マイコプラズマ肺炎は1年を通じて発生しますが、秋冬に増加する傾向があります。

感染経路は、飛沫感染や接触感染であり、家庭のほか、学校などでも感染の伝播がみられます。感染してから発症するまでの潜伏期間は長く、2～3週間とされています。

主な症状は発熱や全身の倦怠感、頭痛、せきなどです。せきは遅れて始まることもあり、熱が下がった後も長期にわたって（3～4週間）続くのが特徴です。多くの人は気管支炎程度の軽い症状で済みますが、一部の人は肺炎を発症し、重症化します。また、中耳炎、胸膜炎、心筋炎、髄膜炎などを併発する症例も報告されています。

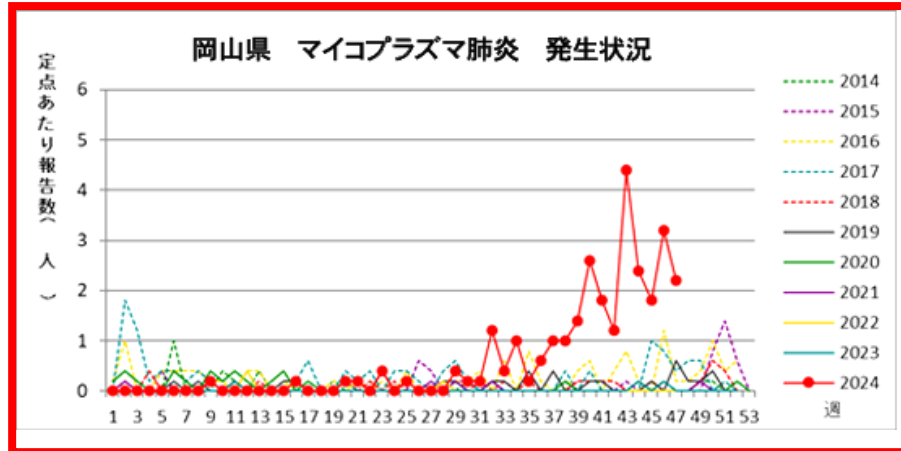
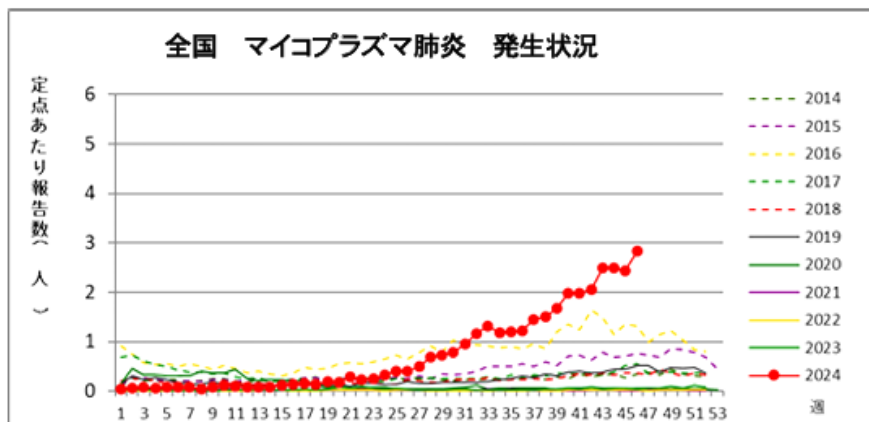
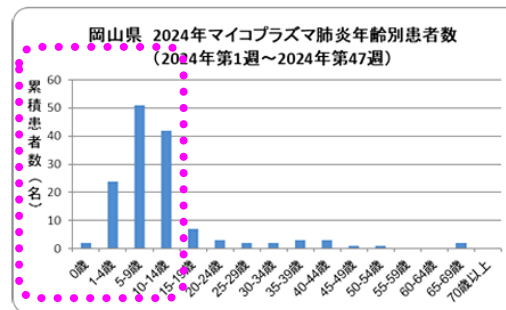
脳炎もあり

年齢別では、第47週までで14歳以下が全体の83%

●発生状況

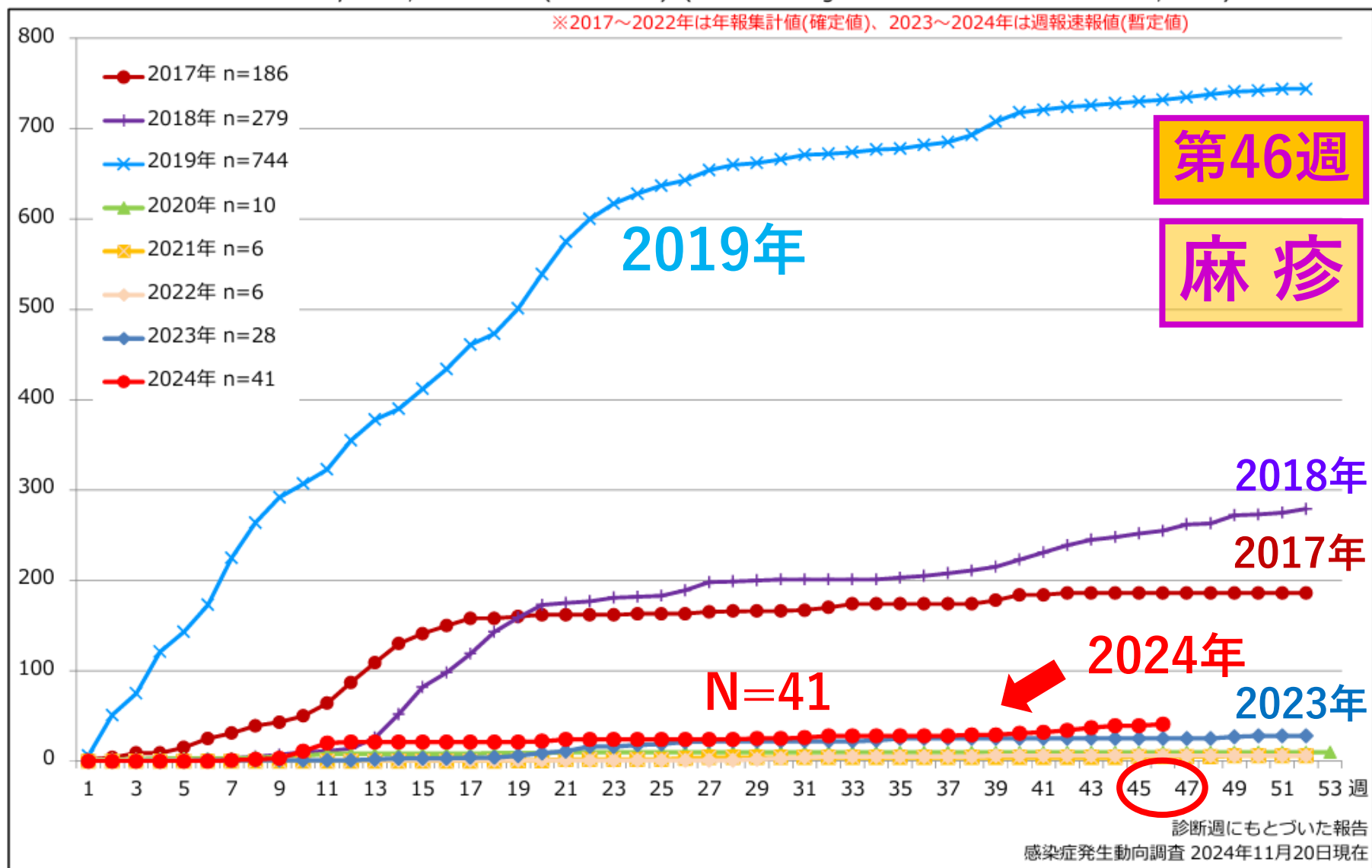
全国の第46週（11/11～11/17）のマイコプラズマ肺炎の報告数は前週から増加し（定点あたり2.43→2.84人）、過去10年間の同時期と比較して最も多くなっています。都道府県別では福井県（8.83人）、青森県（5.00人）、茨城県（4.92人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。

岡山県では第47週（11/18～11/24）は県全体で11名の報告があり（5定点医療機関報告）、前週から減少しました（定点あたり3.20→2.20人）。地域別では、岡山市で2名、倉敷市で9名の報告がありました。年齢別では、第47週までで14歳以下が全体の83%を占めています。

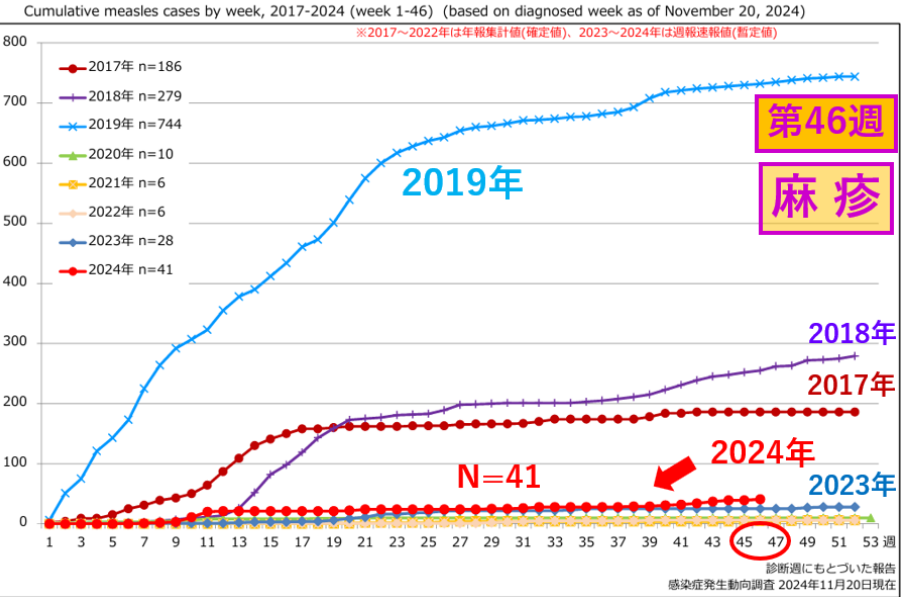


1. 麻疹累積報告数の推移 2017～2024年 (第1～46週)

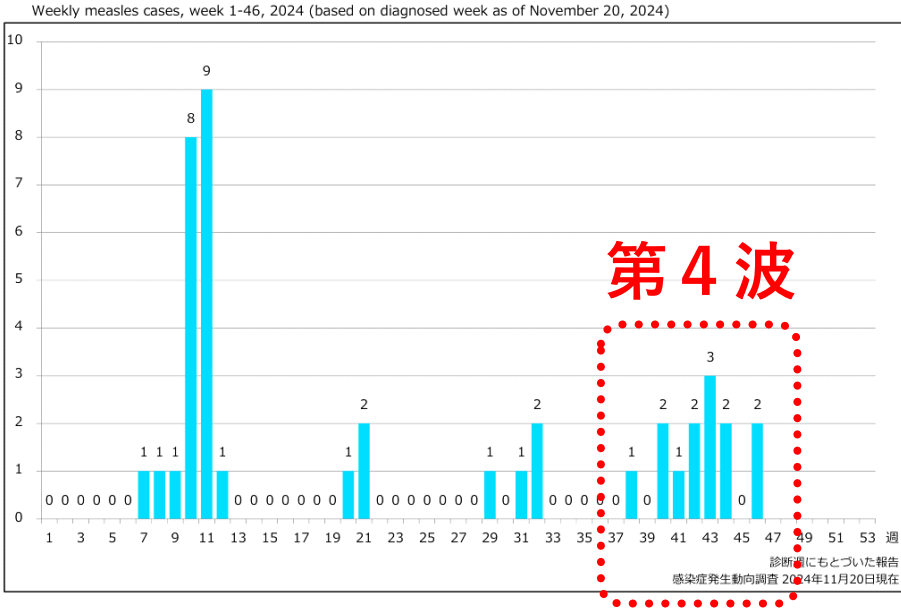
Cumulative measles cases by week, 2017-2024 (week 1-46) (based on diagnosed week as of November 20, 2024)



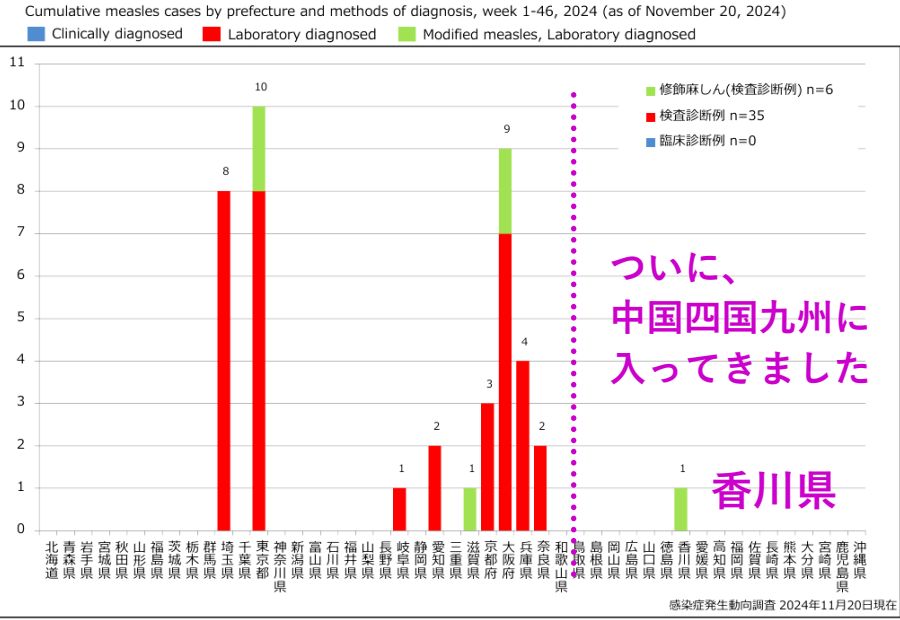
1. 麻疹累積報告数の推移 2017～2024年 (第1～46週)



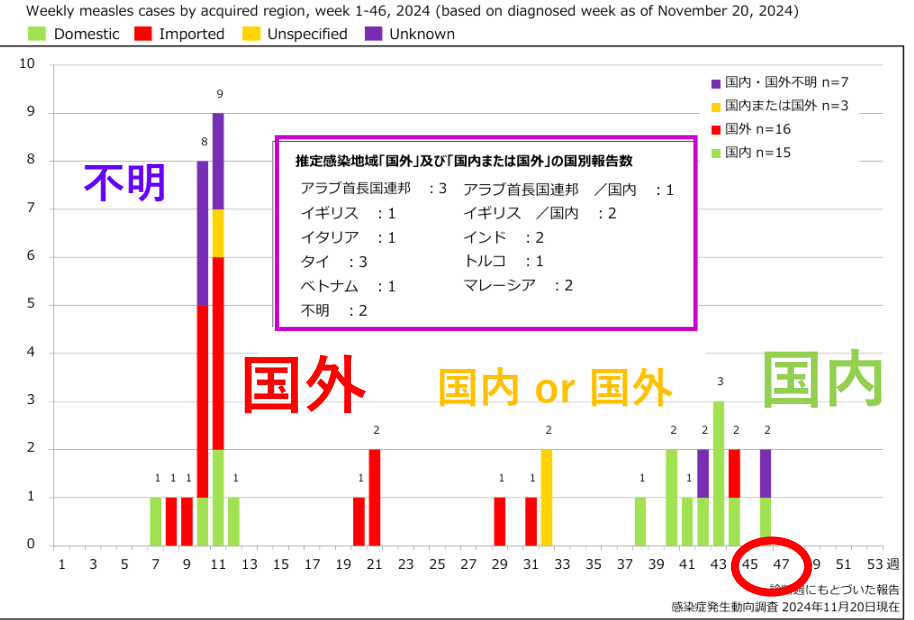
2. 週別麻疹報告数 2024年 第1～46週 (n=41)



4. 都道府県別病型別麻疹累積報告数 2024年 第1～46週 (n=41)



8. 週別推定感染地域(国内・外)別麻疹報告数 2024年 第1～46週 (n=41)

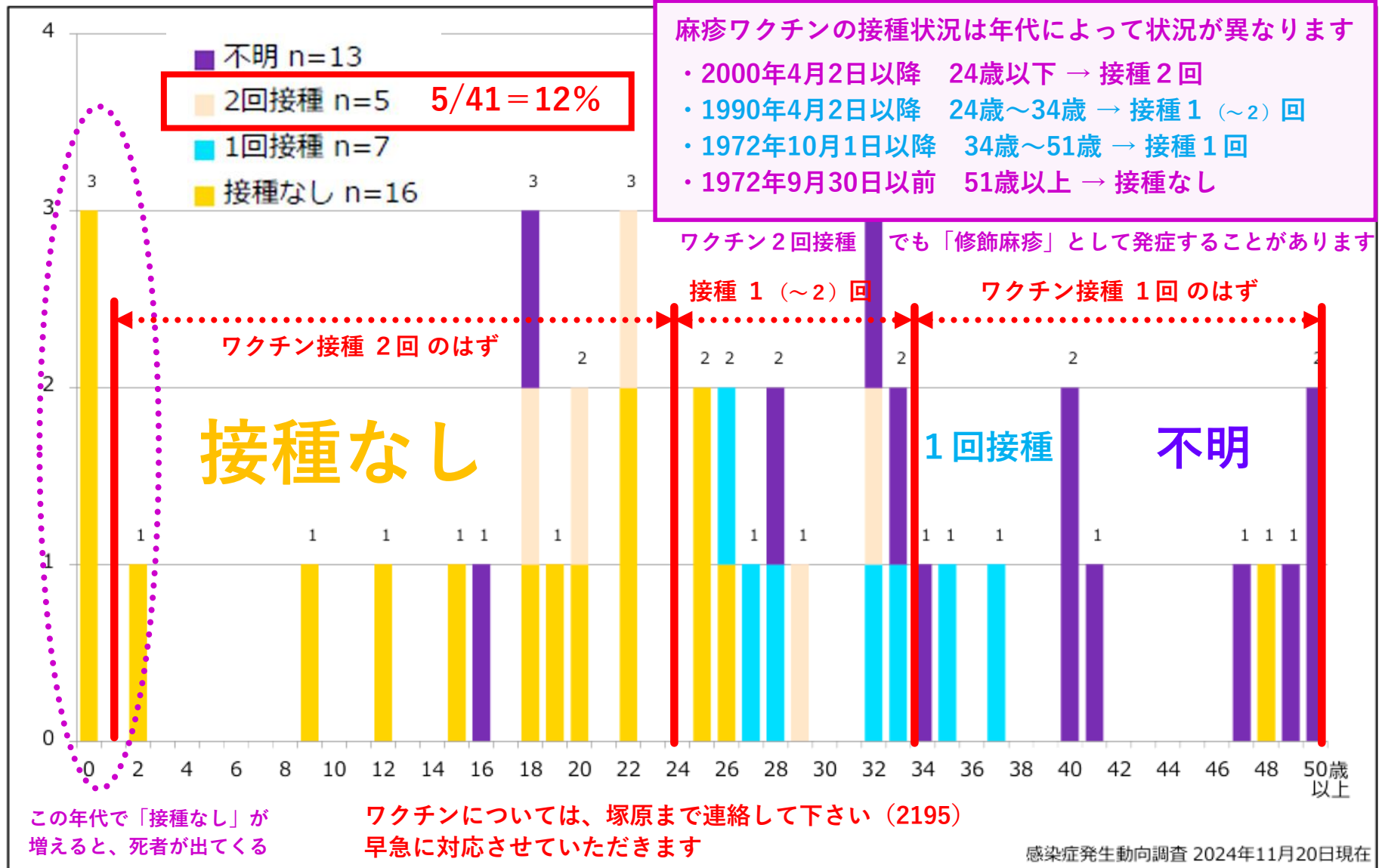


6. 年齢群別接種歴別麻疹累積報告数 2024年 第1~46週 (n=41)

N=41

Cumulative measles cases by age and vaccinated status, week 1-46, 2024 (as of November 20, 2024)

None MCV1 MCV2 Unknown





麻疹を疑ったら患者を陰圧個室に隔離し、すぐに、咽頭ぬぐい液、血液、尿の3点セットを保健所に提出し、地方衛生研究所でPCRを行ってもらいましょう。

IgMなどの抗体検査を優先する必要はありません。

体内に麻疹の抗体があるが十分ではない、という状態の場合、「修飾麻疹」として麻疹が発症することがあります。

この場合、微熱にとどまる、発疹が目立たないなど、非典型的な症状になる可能性があり、診断が難しくなります。

もしかしたら麻疹かも・・・と疑う姿勢がなにより重要です。
あなたの気づきが、アウトブレイクを防ぎます。

ワクチン2回のみでウイルス曝露のない若い成人は、修飾麻疹とし発症することがある

麻疹を疑えば、診療に当たる方は、**N95＋アイガード**を装着

麻疹の基本再生産数：16～21で、新型コロナの数倍である

- ◎ 外来などでこのような方がいらしたら、感染制御部（7906）か、塚原か（2195）まで連絡して下さい。
- ◎ 毎週水曜日 1200～1300に小児科外来（3階）で、麻疹・風疹・ムンプス・水痘のワクチン接種をしています。必要な方は、塚原（2195）まで連絡して下さい。迅速に対応します。